

貯 法	保存条件 室温保存
	容 器 気密容器
使用期限	ラベルに記載
注 意	「取扱い上の注意」の項参照

承認番号	22200AMX00706000
薬価収載	2010年11月
販売開始	2010年11月

外用殺菌消毒剤（滅菌製剤）

日本薬局方 **ベンザルコニウム塩化物液**

* **ベンザルコニウム塩化物消毒液0.05W/V% 「日医工」**
BENZALKONIUM CHLORIDE SOLUTION

【組成・性状】

1. 組成

販売名	ベンザルコニウム塩化物消毒液0.05W/V% 「日医工」
有効成分	100mL中 ベンザルコニウム塩化物 0.05g (0.05w/v%)

2. 性状

販売名	ベンザルコニウム塩化物消毒液0.05W/V% 「日医工」
剤形・性状	無色～淡黄色澄明の液で、特異なおいがある。 本品は振ると強く泡立つ。

【効能・効果】【用法・用量】

効能・効果	用法・用量 (ベンザルコニウム塩化物濃度)
手指・皮膚の消毒	通常石けんで十分に洗浄し、水で石けん分を十分に洗い落した後、ベンザルコニウム塩化物0.05%溶液に浸して洗い、滅菌ガーゼあるいは布片で清拭する。 術前の手洗の場合には、5～10分間ブラッシングする。
手術部位（手術野）の粘膜の消毒、皮膚・粘膜の創傷部位の消毒	ベンザルコニウム塩化物0.01～0.025%溶液を用いる。
感染皮膚面の消毒	ベンザルコニウム塩化物0.01%溶液を用いる。
手術室・病室・家具・器具・物品などの消毒	ベンザルコニウム塩化物0.05%溶液を布片で塗布・清拭するか、または噴霧する。
腔洗浄	ベンザルコニウム塩化物0.02～0.05%溶液を用いる。
結膜囊の洗浄・消毒	ベンザルコニウム塩化物0.01～0.05%溶液を用いる。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- (1)本剤は、濃度に注意して使用すること。
- (2)炎症又は易刺激性の部位（粘膜、陰股部等）に使用する場合には、正常の部位に使用するよりも低濃度とすること。
- (3)本剤を希釈して使用する場合は、調製後滅菌処理すること。

2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

	頻度不明
過敏症 ^{注)}	発疹、そう痒感等の過敏症状

注)このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。

3. 適用上の注意

(1)人体

- 1)投与経路：経口投与しないこと。浣腸には使用しないこと。
- 2)使用時
 - a. 粘膜、創傷面又は炎症部位に長期間又は広範囲に使用しないこと（全身吸収による筋脱力を起こすおそれがある）。
 - b. 密封包帯、ギブス包帯、バックに使用すると刺激症状があらわれることがあるので、使用しないことが望ましい。

(2)その他

1)調製方法

- a. 希釈液として塩類含量の多い水又は硬水を用いないこと。
- b. 繊維、布（綿、ガーゼ、ウール、レーヨン等）は本剤の成分であるベンザルコニウム塩化物を吸着するので、これらを溶液に浸漬して用いる場合には、有効濃度以下とならないように注意すること。

2)使用時

- a. 血清、膿汁等の有機性物質は殺菌作用を減弱させるので、これらが付着している医療器具等に用いる場合は、十分に洗い落としてから使用すること。
- b. 石けん類は本剤の殺菌作用を減弱させるので、石けん分を洗い落としてから使用すること。
- c. 皮膚消毒に使用する綿球、ガーゼ等は滅菌保存し、使用時に溶液に浸すこと。
- d. 合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学器具、鏡器具、塗装カテーテル等への使用は避けることが望ましい。
- e. 皮革製品の消毒に使用すると、変質させることがあるので使用しないこと。

【取扱い上の注意】

1. 開封時及び開封後は、微生物による汚染に注意すること。
2. 本剤は滅菌製剤なので、開封後は速やかに使用すること。

【包 装】

500mL（角型減容）

【文献請求先】

日医工株式会社 お客様サポートセンター
〒930-8583 富山市総曲輪1丁目6番21
フリーダイヤル (0120) 517-215
Fax (076) 442-8948